

研究課題名	挿管困難症例に対する鎮静下気管挿管時の麻酔方法の検討
研究期間	2025 年 8 月 19 日 ～ 2026 年 9 月 30 日
研究の対象	2015 年 4 月～ 2026 年 3 月の間に広島大学病院で全身麻酔による治療を受けられた際に、気道確保が困難な可能性がある（困難気道リスクあり）と判断された方、また困難気道としての管理を受けられた方
研究の目的・方法	研究目的：困難気道に対する周術期管理手技の実態を明らかにすることです。 研究方法：研究対象者の診療録内や手術麻酔記録内またそれに付随するデータを使用し、困難気道リスクの評価方法や実際の所見、周術期管理（薬剤や手技など）が意識・呼吸・循環などの生体反応へ及ぼす影響について調査します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、身長、体重、ASA-PS（アメリカ麻酔科学会による全身状態分類）、病歴、検査結果、手術・麻酔記録やそれに付随するデータ、看護記録、SICU 記録、周術期使用薬剤、合併症等（個人を特定しうる情報は使用しません） 情報の管理責任者： 医系科学研究科麻酔蘇生学 准教授 佐伯 昇
利用または提供を開始する予定日	2025 年 8 月 19 日 本学における実施許可日
個人情報の保護	得られた情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	ありません。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科 麻酔蘇生学 准教授 佐伯 昇
その他	特にありません。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

	広島大学大学院医系科学研究科 麻酔蘇生学 担当者：佐伯 昇 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5267
--	--